

まつなみたより 265号

発行：特定非営利活動法人介護の会まつなみ 理事長 島村俊夫

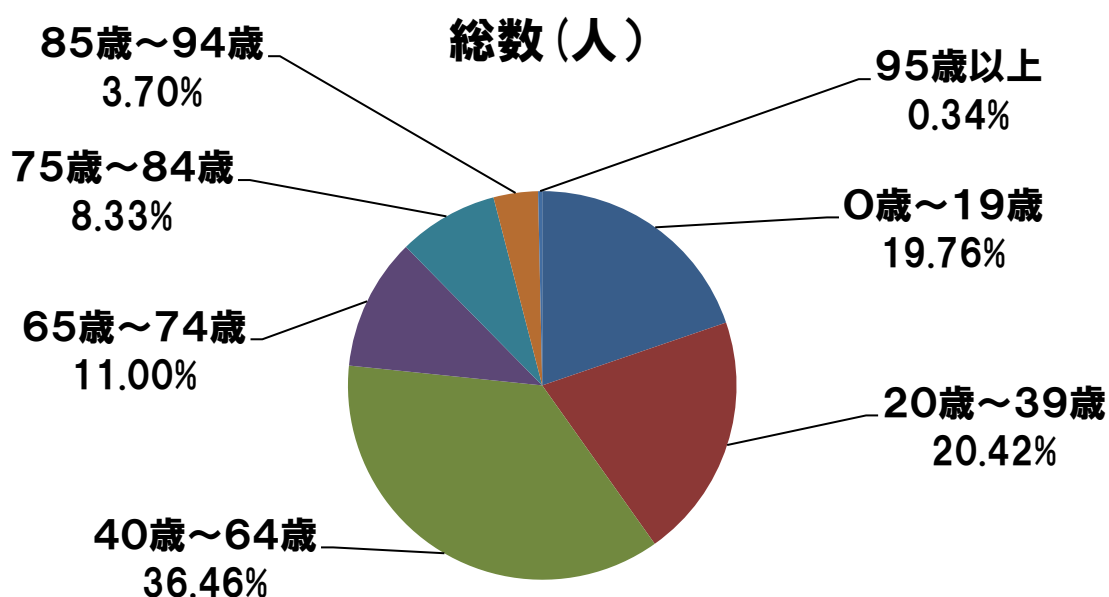
松浪地区高齢化率 23.37%

松浪地区人口 25,475人 65歳以上人口 5,953人

平成30年4月1日現在

※茅ヶ崎市統計より抜粋編集

年齢別	総数(人)	率(%)	男(人)	率(%)	女(人)	率(%)
0歳～19歳	5,033	19.76%	2,622	21.24%	2,411	18.36%
20歳～39歳	5,201	20.42%	2,512	20.35%	2,689	20.48%
40歳～64歳	9,288	36.46%	4,686	37.96%	4,602	35.04%
65歳～74歳	2,801	11.00%	1,277	10.35%	1,524	11.61%
75歳～84歳	2,122	8.33%	908	7.36%	1,214	9.24%
85歳～94歳	943	3.70%	326	2.64%	617	4.70%
95歳以上	87	0.34%	12	0.10%	75	0.57%
総人数	25,475		12,343		13,132	



法人の活動状況

月 日	会議名等	参加者名
4月11日	福祉相談員部会	丸本福祉相談員
4月18日	松浪まちぢから協議会運営委員会	赤坂管理責任者
4月19日	福祉相談室連絡会議	丸本福祉相談員
4月19日	主任介護支援専門員部会	平國主任介護支援専門員
4月25日	保健師部会	三堀看護師

相談センターまつなみに実習生！

4月10日（火）から、介護支援専門員試験を受験し合格した2名の
実習として当法人相談センターまつなみが受け入れ、介護支援専門員
の職員と同行して利用者宅を訪問しました。

実習生の感想

実習生の方からの実習しての感想をいただきました。



3日間の研修では、川原主任介護支援専門員、大畑・遠藤介護支援専門員より、
丁寧に指導していただきました。ご自分たちの経験や情報を伝えてくれようとして
いる気持ちに溢れていらっしや、メモを取ることや現場の空気にもふれる事に夢
中になりました。初めての担当者会議では、ご利用様の本音が聞こえ、一事業
所で働く者としては身の引き締まる時間でした。私たち実習生を受け入れる事で、
沢山の準備を見えないところで下さり本当にありがとうございました。
実習生 村山

外出支援実施！

5月12日（土）にデイサービスまつなみ利用者2名が、職員2名の付き添いで、
平塚市所在の神奈川県立花と緑のふれあいセンター「花菜ガーデン」行き、バラや
ポピーなどを楽しく鑑賞いたしました。デイサービスで仲良くなられた5人で花菜
ガーデンのバラフェスティバルへ行って来ました。始めは車いすに乗られていた方
が「ここまで来て車椅子なんてもったいない。私も歩く！」と車椅子を押しながら
バラを楽しまれました。時折、お花に顔を近づけて「うわぁいい香り！」とバ
ラの香りを楽しまれたり、剪定をされている花菜ガーデンのスタッフに「それ下さ
い」と声を掛けられたりしていました。昼食は皆さんから『美味しい洋食が食べたい』
とのリクエストを受け、和フレンチ店へ行きました。

コース料理では、ほとんどの方が残すことなく召し上がり、お店の方が「皆さんす
ごい食欲ですね」と驚かれる程でした。

満腹になり「今日は本当に楽しかったわぁ」「また行きましょね」「美味しいお昼
も食べられて楽しかったわ」と口々におっしゃられていました。

日頃、デイサービスで見られる皆さんの表情とはまた少し違う表情を見る事がで
き、付き添ったスタッフにとっても良い外出支援となりました。

デイサービスまつなみ 管理者 布施 有紀



福祉・介護の思い出 2

昭和51年（1976年）1月より、東京都町田市所在の特別養護老人ホーム清風園に生活指導員として勤務しました。1月1日より勤務したのですが、その日にご利用者の1名がホームでお亡くなりになりました。清風園は常勤の医師がいましたので、夜中でもその医師がかけつける体制となっていました。しかしその後、3日・5日・8日・13日以下は覚えていないのですが、何と1か月に8名の方がお亡くなりになり、職員から今度来た生活指導員は「死神」ではないかなどと言われたものでした。私自身は、お亡くなりになってからの対応方法がまだわからない中で、親しくしていた他の老人ホームの生活指導員などからの情報収集により、何とか仕事をする事ができたことを今でもはっきりと覚えております。

当時の特別養護老人ホームでは、まだまだ大人用のおむつカバーが普及されていないため、ビニールの風呂敷状のものをおむつカバーとして使用していました。清風園は100名定員で、1・2階50名ずつでした。介護職の経験をしなくてはと、2階での夜勤をしたときおむつ交換をする方が約半数の23名いらっしゃいました。当時自分自身20代後半のまだ若い時でしたが、10名位のおむつ交換で腰が痛くなり、頑張って全員の介護を終えたことが思い出されます。

生活指導員としては、ご利用者のご家族、3名いれば3名に、5名いれば5名に、3か月ごと老人ホームでの生活の様子をお知らせするお手紙を差し上げておりました。そんなことまでしなくても良いのにとも言われましたが、続けておりました。すぐに反応のあったご家族、1年・2年何の反応もない方色々でした。

2年間反応のなかったご家族で、入園されている高齢者Hさんは、ずっと親子関係が断絶していた方です。子供のころ、Hに売られたのだと言って、関わりをずっと拒否していた娘さんでした。お手紙の中で、少しずつ心を和らげていただき、2年後には、父親にと衣類を送ってくださいました。本当に嬉しい出来事でした。そして最初は遺骨の引き取りはしないと仰っていたのですが、3年目にお亡くなりになったときに、愛知県名古屋市より来てくださり、遺骨を引き取ってくださいました。最後に親を許したことで、娘さんもきっと心が穏やかになったのではと感じました。

また、息子さんが九州にいらっしゃる盲目の高齢者Aさんがいらっしゃいました。まったく面会のない方でしたが、こちらからのお手紙は受け取ってくださり、時折お手紙もくれた方でした。当時私は、ご利用者のご家族の方で面会に来られる方には、できるだけお会いしお話をしてまいりましたので、ご家族の顔も大体覚えておりました。私が清風園を退職する日に玄関に見慣れないご家族らしい方がいらっしゃいました。お聞きすると高齢者Aさんの息子さんでした。すぐにAさんの所にご案内をし、会っていただき、まさに感動のご対面でした。私自身、退職する日ということもあり、深く感動し、まさに神様が、「貴方の仕事は正しかったよ」と言ってくださっているような想いを抱かせてくれた出来事でした。

理事長 島村俊夫

ご利用の皆様へ！

- 訪問時・通所時等での茶菓の接待、金品の頂き物は、当法人の理念・運営方針からお受け取り致しかねますので、職員がお断りすることがあると思いますので、ご了承ください。
- ご寄付については、寄付申込書によりお受けいたしております。
- 事業計画書・予算書・事業報告書・決算書は各事業所に備えてありますので、ご自由に閲覧ください。またホームページにも掲載しております。
- 苦情やご意見は、いつでもお申し出ください。
- ご連絡いただければ、各事業所の見学ができます。

法人の事業所一覧 (ホームページ <http://www.matsunami-k.com/>)

法人本部		E-mail : houjin@matsunami-k.com
訪問介護センターまつなみ (訪問介護事業)	〒253-0022 茅ヶ崎市松浪 1-1-12 TEL : 0467-57-5272	E-mail : houmon@matsunami-k.com
相談センターまつなみ (居宅介護支援事業)		E-mail : soudan@matsunami-k.com
評価事業部 (福祉サービス第三者評価事業)		E-mail : houjin@matsunami-k.com
まつなみクラブ (通所介護事業)	〒253-0022 茅ヶ崎市松浪 1-10-33	TEL : 0467-58-3839 E-mail : matsu-club@mbr.sphere.ne.jp
デイサービスまつなみ (通所介護事業)	〒253-0031 茅ヶ崎市富士見町 7-3	TEL : 0467-84-4858 E-mail : care@matsunami-k.com
げんきつき (日中一時支援事業)		TEL : 0467-84-4859 E-mail : genki@matsunami-k.com
松浪地区地域包括支援センターさざなみ	〒253-0032 茅ヶ崎市常盤町 2 - 2 松浪コミュニティセンター内	TEL : 0467-39-5901 E-mail : sazanami@mbr.sphere.ne.jp
福祉相談室さざなみ		TEL : 0467-39-5935 E-mail : soudan@mbr.sphere.ne.jp